



2018年7月30日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第159号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 中南米地震工学研修閉講～構造技術者グループ～
- YEAR BOOK Vol.34 2018

• 研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

中南米地震工学研修閉講～構造技術者グループ～

国際地震工学センター 管理室長 飯竹 理広

7月11日(水)から2日間、構造技術者グループの10名は、現在抱える課題について、5月からつくばで行われた研修での知見を生かし、半年から一年で研修生自身が取り組める計画の発表を行いました。この発表でつくばでの研修が終了になり、7月16日(月)からは、エルサルバドル共和国において、講義や構造実験が行われ、7月27日(金)に構造技術者グループの研修が閉講しました。

今回の研修生を含め、2014年からスタートした中南米地震工学研修の修了生は、中南米諸国10カ国から81名になりました。これまでの研修修了生のご活躍により、中南米諸国での耐震建築の普及がより一層促進されることを期待しています。

写真:発表の様子



論文募集

IISEE Bulletinは、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



楽しむのは今です。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEEと卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国での活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するように誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>



発表終了後



国土地理院にて



生コン工場見学



ディスカッションの様子



お別れ茶話会



材料実験

YEAR BOOK vol.34 2018

先週お送りしたレスポンスシートを、iisee@kenken.go.jp に返送をお願いします。
なお、レスポンスシートは iisee のホームページからダウンロードできます。

<http://iisee.kenken.go.jp/?p=down>

レスポンスシートを返信して下さった方にのみYEARBOOKをお送りします。

8/31 までにいただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします